東京女子大学
Press Release

報道機関各位

2026 年 11 月 20 日
東京女子大学/東京都杉並区善福寺 2-6-1

東京女子大学の教育プログラムが、文部科学省の数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度「応用基礎レベル」に認定！

東京女子大学（東京都杉並区、学長：太田邦史）の実施する教育プログラムが、このたび文部科学省の数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度「応用基礎レベル」に認定されました。

概要







認定の有効期間：令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

東京女子大学では、全学生が履修可能な AI・データサイエンス科目を含む AI・データサイエンス・統計に係る科目を対象に、各自の到達度を認定する制度として「AI・データサイエンス教育プログラム」を展開しています。認定レベルは 4 段階設定され、到達者には学修内容を証明するデジタル証明書（オープンバッジ）が発行されます。

このたび、到達目標の第 2 段階に相当するプログラムが、文部科学省の実施する数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」の認定を受けました。これは 1 段階目の「リテラシーレベル」をふまえて、自らの専門分野にデータサイエンス・AI を応用・適用するための基礎力を習得していることを認めるものです。学生は文系・理系を問わず、多様なデータ分析手法の理解に加え、有益な情報や知見を引き出す実践的な分析力や、生成 AI に関するリテラシー・技術を身につけることができます。

文部科学省 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（MDASH）

本制度は、学生の数理・データサイエンス・AI への関心を高め、それを適切に理解し活用する基礎的な能力を育成するために、数理・データサイエンス・AI に関する知識及び技術について体系的な教育を行う大学等の正規課程を文部科学大臣が認定し奨励するものです。

東京女子大学の AI・データサイエンス教育

AI が日常生活に浸透し一般常識となっている昨今、AI・データサイエンスに関する知識やスキルの修得は、文理を問わず全ての学生にとって重要性を増しています。

東京女子大学 現代教養学部では、これまでも各学科・専攻において、各々の学問領域に即したデータサイエンス、統計分析、データハンドリングの教育を実践してきました。理系学科はもちろん、文系学科においても「日本語データ分析」「統計学」など多様な分野の科目でデータサイエンスの手法を活用しています。

こうした背景のもと、本学は 2022 年度に「AI・データサイエンス教育研究センター」を設置し、数理・データサイエンス・AI 教育の全学的な強化を進めてきました。2023 年度には「データサイエンス副専攻コア科目」が文部科学省の「リテラシーレベル」認定を受けています。さらに 2024 年度からは、AI・データサイエンス科目の全学必修化や早稲田大学との連携科目の開設を行うとともに、学修到達度を評価する独自の制度「AI・データサイエンス教育プログラム」を開始しました。そして 2026 年度、本プログラムの上位段階にあたる学びが、文部科学省の「応用基礎レベル」として認定されるに至りました。

このように、学生一人ひとりが自分の専門分野と関連付けて AI・データサイエンスに係る知識やスキルを主体的に修得できるよう、東京女子大学は教育改革を進めてまいりました。学生は得た知識やスキルを自らの専門領域での研究に結びつけ、卒業論文や講究において発展的な実践へとつなげることができます。本学はこれからも、現代社会に必須のスキルを身につけた「専門性を持つ教養人」として、人類・社会の問題解決に貢献し得る女性を育成してまいります。

AI・データサイエンス教育研究センター

https://www.twcu.ac.jp/main/campuslife/aidatascience-center/index.html

【本件に関するお問い合わせ先】
東京女子大学　広報課
TEL 03-5382-6476　FAX 03-3395-1212　E-mail pr@list.twcu.ac.jp